管内の主な感染症の流

疾患名	管内状況第28週(7/6~7/12)					
	発生数(人)	前週との比較				
感染性胃腸炎	11 (8)	/				
突 発 性 発 疹	5 (4)					
溶連菌咽頭炎	1 (0)	<i>></i>				
水痘	1 (0)					
川崎病	1 (0)	7				

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による)

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

夏に流行しやすい病気の話③

原因

アデノウイルスが原因で、プールの水を介して感染拡大することが あるため、プール熱とも呼ばれています。

症状

38~39℃の発熱から始まり、のどと眼に炎症が おこります。

経過

感染してから症状が出るまでは5~7日。

発熱は3~4日程度、眼やのどの症状は1~2週間

でおさまります。高熱が3日以上続く場合は、早めに医療機関を受診 しましょう。

予防

接触感染に対しての、手洗いが大事です。

タオルの共有を避けるのはもちろんですが、目やにはティッシュで 拭き、すぐに捨てましょう。

プールを集団で利用する場合は、塩素濃度を適切に管理しましょう。 のどから2週間、便から30日間ウイルスが排出されますので、特 に便の処理には気をつけましょう。

(参考) 秋田県の状況 第27週(6/29~7/5)

<全県の発生状況>

1位:感染性胃腸炎 (全県で前週と同規模)

2位:溶連菌咽頭炎 (全県で前週より15%減少)

3位:咽頭結膜熱

(全県で前週より2.1倍に増加)

4位:突発性発しん 5位:流行性角結膜炎

県内 警報・注意報

注意報・警報はありません

横手地域•学校欠席者情報(7/13)

感染症情報収集システハより(人)

アテ゛ノウイルス 感染症 5人

公条近旧報以来ンステムより(入)									
疾患名	1	感	流	水	伝	溶	手		
	ン	染	行	痘	染	連	足	ź	
	フ	性	性		性	菌		の	
	ル	胃	角		紅	団	病	他	
	エ	腸	結		斑	頭			
施設	ン	炎	膜			炎			
(数)	ザ		炎						
保育所•園		1						6	
(35)		1						U	
小学校									
(22)									
中学校									
(8)									
高校 (7)									
特別支援									
学校									